

17の学びやを巣立つ卒業生 翼を広げて未来へ羽ばたく

市内の小中学校17校で卒業証書授与式を挙る



卒業生を代表して答辞を述べる吉田大祐君(西根第一中)

市内小中学校17校の卒業証書授与式は3月14日から20日まで、それぞれ行われました。西根地区の西根第一中学校は3月14日に卒業式を挙行。佐々木裕校長が48人の卒業生一人一人に卒業証書を授与しました。田村正彦市長は、母校の後輩たちに「皆さんは3年間で素晴らしい成長を遂げた。将来、市を担う人材として、自分が選んだ道でしっかりと立ってほしい」と激励しました。



一人一人に卒業証書が手渡され(手前)、感謝の気持ちを込めて父母に卒業証書を手渡す(奥)松野小の卒業生

松尾地区の松野小学校は3月20日に挙行。卒業生28人に、卒業証書が手渡されました。加藤常明校長は「常に感謝の気持ちを忘れずに、人を大切にする優しさをしっかりと持って、元気いっぱい希望に向かって中学校生活を送ってほしい」と



目標達成を誓い「トゥモロー」を合唱する田山小の卒業生

卒業生を励ましました。別れの言葉では、卒業生と在校生が、それぞれ思い出と感謝の気持ちを発表。卒業生は「街は光の中に」を合唱し、思い出の学びやに別れを告げました。安代地区の田山小学校は3月16日に挙行。菅原由子校長が卒業生に「おめでとう」と声を掛けながら卒業証書を手渡しました。11人の卒業生と在校生が思い出と決意を語り合う「旅立ちの言葉」では、在校生が卒業生一人一人の名前を呼びながら、感謝の言葉を発表。卒業生は、それぞれの夢や希望を歌声に乗せて「トゥモロー」を合唱しました。

みんなの作品 ～安代小～

※学年は3月現在



4年 関 裕介くん

版画 「投球練習」



2年 遠藤 はつね 初音さん



工作 「りんご」



6年 高村 はるか 明花さん

卒業制作 「クロスラック」



ZOOM UP

「シャッターを切る瞬間に写真家としての資質が出る」。第24回技能グランプリ写真職種(3月2日)で全国の頂点に立った八幡さんは、写真に対する情熱を語った。「写真は準備が9割、テクニックは1割」と言い切る。被写体と会話を弾ませ、その人の一番いい表情を引き出すのが信条だ。「お客さんからたくさん感動をもらっている。自分の力を惜しみなく注ぎ込まないとね。うちの撮影は時間がかかるけど、儲けはないよ」と笑った。八幡さんは写真に「気品」を求め、技能グランプリでも60代男性の男らしさの中にある優しさを写し出した。光と影を巧みに操り、一枚の写真に命を吹き込む。「被写体の瞳に光が入ると写真に力強さが増す。『目力』は大切だよ」と教えてくれた。向上心を燃やす八幡さんは「次は、富士営業写真コンテストで金賞を取りたい」と、国内で最も榮譽ある賞にピントを合わせた。

八幡 富士男さん

●やはた・ふじお 八光スタジオ代表。平舘高校を卒業後、八戸で7年、群馬で2年間、写真の修行を積む。父・幸一郎さん亡き後、父が開いた「不二写真館」を継ぐ形で「八光スタジオ」を27歳の時に開設した。現在は、本店と盛岡店を往復する毎日。国内でも榮譽ある富士営業写真コンテストで銀賞、銅賞を獲得するなど入賞歴は多数。子どもとブライダル写真の撮影は特に評価が高い。妻、娘、母の4人家族。58歳。血液型O型。安代地区清水。

広報クイズ No.19 4月5日号の問題

安代地区浅沢 に完成した、 地域文化を伝 承する建物は

正解者の中から抽選で3人に500円分の図書カードをお贈りしますので、どしどしご応募ください。
◎応募方法 はがき、ファクス、メール(パソコン、携帯電話)に「答え、住所、氏名、年齢」を書いて応募してください。また、答えのほかに、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。
◎応募期限 4月27日(金) 消印有効
◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」
☆はがき 〒028-7192(住所不要) ☆ファクス 75-0469
☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp
*メールのタイトルに必ず「広報クイズ」と入力してください。
◎第18回の正解 「150社」 ◎応募者数 18人 ◎正解者数 18人
◎当選者 渡辺幸さん(大更)、高橋春奈さん(平笠)、荒川安子さん(野駄)